



MIMIO ASSIST ONE

取扱説明書

ヒアリングアシストイヤホン

はじめにお読みください

お買い上げいただきありがとうございます。ご使用の前に取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくご使用ください。また、いつでもすぐ読める場所に保管しておいてください。本製品の取扱説明書は3種類あります。次の順番でご確認ください。

本製品は医療機器ではなく、病気や健康状態の診断、治療を目的としたものではありません。聴力について気になる場合は、医療機関での相談をお勧めします。

①

かんたん設定ガイド (別紙)
充電のしかた、ペアリングのしかた、アプリのインストール方法など、初期設定をご確認ください。

②

取扱説明書 (本書)
安全上の注意、アプリやイヤホンを使った基本操作についてご確認ください。

③

オンラインマニュアル
詳しい使いかたの確認、接続できない、充電できないなど困ったときの解決方法については、当社ホームページ掲載のオンラインマニュアルをご確認ください。左の二次元バーコードから確認できます。

取扱注意ガイド編

■ 安全上の注意

本製品は安全性に十分な配慮をして設計していますが、使いかたを誤ると事故が起こることがあります。事故を未然に防ぐために次の内容を必ずお守りください。

	危険	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が切迫しています」を意味しています。
	警告	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性があります」を意味しています。
	注意	この表示は「取り扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う、または物的損害が発生する可能性があります」を意味しています。

イヤホンについて

	警告
<ul style="list-style-type: none">● 本製品を医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与える恐れがあります。医療機関の屋内では使用しないでください。● 航空機内では航空会社の指示に従い適切に使用する 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。● 自動ドアや火災報知器などの自動制御機器の近くで使用しない 電波が影響をおよぼし、誤作動による事故の原因となる恐れがあります。● 分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。● 強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。● 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。● 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。● 布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。● 自動車、バイク、自転車など、乗り物の運転中は絶対に使用しない 交通事故の原因となります。歩行中でも周辺環境に十分注意して使用してください。特に、踏切、駅のホーム、工事現場、車や自転車の通る道などでは注意してください。● 幼児の手の届く場所に置かない 誤飲など、事故の原因になる場合があります。	

	注意
<ul style="list-style-type: none">● 大音量で耳を刺激しない 耳をあまり刺激しない適度な音量でご使用ください。大音量で長時間聴くと聴力に悪影響を与えることがあります。● 肌に異常を感じた場合は、使用しない すぐにご使用を中止してください。症状が回復しない場合は、医師の診断を受けてください。● 使用中に気分が悪くなったら、使用を中止する 本製品を耳から外してください。● 使用後、本製品にイヤピースが付いているか確認する イヤピースが耳の中へ残り、取り出せない場合は、すぐに医師の診察を受けてください。● 蒸れによりかゆみなどを感じた場合は、使用を中止する けがや事故の原因になります。	

充電ケースについて

	警告
<ul style="list-style-type: none">● 分解や改造はしない 感電、故障や火災の原因になります。● 強い衝撃を与えない 感電、故障や火災の原因になります。● 濡れた手で触れない 感電やけがの原因になります。● 異常(音、煙、臭いや発熱、損傷など)に気付いたら使用しない 異常に気付いたらすぐに使用を中止して、お買い上げの販売店が当社サービスセンターに修理を依頼してください。● 水をかけない 感電、故障や火災の原因になります。● 本製品に異物(燃えやすい物、金属、液体など)を入れない 感電、故障や火災の原因になります。● 布などで覆わない 過熱による火災やけがの原因になります。● 本製品のバッテリージャックや付属の充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電しない 腐食・発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。● 付属の充電用USBケーブルの端子が曲がっていたり、差し込みが緩くなっている状態で充電しない 発熱・発煙・発火などによる故障や感電の原因になります。● 付属の充電用USBケーブル以外で充電しない 故障や火災の原因になります。● USB電源アダプターやモバイルバッテリーを使用して充電する際、出力電流0.5A(500mA)以上の機器を使用する ただし、急速充電機能(5Vより大きな電圧を出力する)を有する機器で充電しない 充電ができない、故障の原因になります。	

	注意
<ul style="list-style-type: none">● 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かない 故障、不具合の原因になります。● 火気に近づけない 変形、故障の原因になります。● ベンジン、シンナー、接点復活剤などは使用しない 変形、故障の原因になります。	

充電式電池について

イヤホン・充電ケースは、充電式電池(リチウムイオン電池)を内蔵しています。

	危険
<ul style="list-style-type: none">● 電池の液が目に入ったときは目をこすらない すぐに水道水などのきれいな水で十分に洗い、医師の診察を受けてください。● 電池の液が漏れたときは素手で液を触らない 液が本製品の内部に残ると故障の原因になります。電池が液漏れを起こした場合は、当社サービスセンターまでご相談ください。万一、なめた場合はすぐに水道水などのきれいな水で充分にうがいをし、医師の診察を受けてください。皮膚や衣服に付いた場合は、すぐに水で洗い流してください。皮膚に違和感がある場合は医師の診察を受けてください。● 火の中に入れてない、加熱、分解、改造しない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。● 釘を刺したりハンマーで叩いたり踏み付けたりしない 発熱、破損、発火の原因になります。● 落下させたり強い衝撃を与えない 液漏れ、発熱、破裂の原因になります。● 水に濡らさない 発熱、破裂、発火の原因になります。● 以下の場所で使用、放置、保管しない ■直射日光の当たる場所 ■炎天下の車内 ■ストーブなどの熱源の近く 液漏れ、発熱、破裂、性能低下の原因になります。	

■ 内蔵充電式電池について

本製品を十分に充電しても使用時間が短くなった場合は、内蔵充電式電池の寿命が考えられます。その際は当社サービスセンターへご連絡ください。
サービスセンター
☎ 0120-887-416(携帯電話などのご利用は 03-6746-0212)

■ 本製品を廃棄する場合 リサイクルのお願い



内蔵充電式電池はリサイクルできます。本製品を廃棄するにあたり、リサイクルにご協力いただける場合は本製品を次の宛先まで着払いにてお送りください。なお、電池を取り出したあとの本製品は返却いたしかねますのであらかじめご了承ください。

送り先: 〒915-0003
福井県越前市戸谷町 87-1
株式会社オーディオテクニカフクイ 二次電池回収担当 宛
TEL : 0778-25-6736(電池回収専用)

■ 使用上の注意

- ご使用の際は接続機器の取扱説明書を必ずお読みください。
- 万一、接続機器のメモリーなどが消失しても、当社では一切責任を負いません。
- 交通機関や公共の場所では、他の人の迷惑にならないよう、音量にご注意ください。
- 接続する際は、必ず接続機器の音量を最小にしてください。
- 乾燥した場所では耳にビリビリと刺激を感じることがあります。これは人体や接続した機器に蓄積された静電気によるもので本製品の故障ではありません。
- 強い衝撃を与えないでください。
- 直射日光の当たる場所、暖房器具の近く、高温多湿やほこりの多い場所に置かないでください。
- 本製品は長い間使用すると、紫外線(特に直射日光)や摩擦により変色することがあります。
- 充電用USBケーブルを接続した状態で、充電ケースをそのままバッグやポケットなどに入れると充電用USBケーブルが引っ掛かり、断線や故障の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用する際は、必ずプラグを持って抜き差ししてください。充電用USBケーブルを引っ張ると断線や事故の原因になります。
- 充電用USBケーブルを使用しないときは、必ず充電ケースから充電用USBケーブルを取り外してください。
- 本製品を使用しないときは、付属の充電ケースに収納してください。
- 付属／当社指定(別売)のイヤピース以外を使用した場合、充電ケースにイヤホンが入らなくなったり、正しく充電ができない場合があります。必ず付属／当社指定(別売)のイヤピースを使用してください。
- 本製品を使用する際は、付属のイヤピースから耳にフィットする最適なものを選び、しっかりと装着してください。
- 本製品の機能にある受話は、携帯電話回線を使用した受話に限り有効です。それ以外(アプリなど利用してパケット通信を介している電話)は、動作保証できません。
- 本製品の近くに電子機器や発信機(携帯電話など)があると本製品にノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- ラジオのアンテナ付近で使用すると、ラジオにノイズが入る場合があります。その場合は離して使用してください。
- 内蔵充電式電池を保護するため、半年に一度は充電を行うようにしてください。放置しすぎると充電式電池の持続時間が短くなる、充電しなくなるなどの恐れがあります。
- 本製品を充電する際は、直射日光を避け、風通しの良い場所(10〜35℃)で充電してください。電池の劣化を招き、連続使用時間が短くなる、充電ができなくなるなどの恐れがあります。
- イヤホンが濡れている場合は、乾いた布で水分を完全に拭き取ってから充電ケースに入れてください。充電ケースは防水／防滴仕様ではありません。イヤホンに水分がついた状態で充電を行わないでください。

■ ヒアリングアシスト(外部音取り込み)機能について

本製品はマイクロホンで取り込んだ外部音を使用者の聴力に合わせて増幅させて再生することで、聴こえ具合をアシストする製品です。

- ヒアリングアシスト機能を使用しているとき、「サー」という音がする場合があります。外部音取り込み機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかた、音量、使用環境や外部音の種類によって、ピーという音(ハウリング)が発生する場合があります。
- 本製品を使用する際は、外部音をより聴きやすくするため必ず当社専用アプリ「Connect」で聴力フィッティングを行ってください。

■ アクティブノイズキャンセリング機能について

本製品に内蔵されたマイクロホンで周囲の環境騒音(乗り物の騒音やエアコンなどの空調音など)を收音し、その逆位相音を出して騒音を打ち消す仕組みになっています。その結果、環境騒音が低減して聴こえます。

- 本製品のノイズキャンセリング機能は、主に低い周波数帯域の騒音に対して効果的ですが、すべての騒音が消えるわけではありません。
- 静かな場所や騒音の種類によっては、ノイズキャンセリング効果が感じられない場合があります。
- ノイズキャンセリング機能を使用しているとき、「サー」という音がする場合があります。これはノイズキャンセリング機能の特性によって発生する音であり、故障ではありません。
- 本製品の装着のしかたによっては、ノイズキャンセリング効果が減少したり、ピーという音(ハウリング)が出ることがあります。このような場合は、本製品を装着し直してください。
- ノイズキャンセリング効果を最大限に発揮するために、付属のイヤピースから左右それぞれ周囲の音が最も聴こえなくなる遮音性の高いイヤピースを選択し、しっかりと装着してください。
- 列車、バスやトラックなどといった自動車で本製品をご使用の場合、レールや路面状況によっては、ノイズが発生することがあります。

■ 本製品の接続がうまくいかない場合は

ペアリングが解除できない、接続できない場合、強制的にペアリングモードにすることで再度ペアリングを行うことができます。

1. L／R(左／右)両方のイヤホンに充電ケース(電池残量がある状態)に取り付けたあとイヤホンのインジケーターが点灯後に、両方のイヤホンの操作ボタンを3回連続で押します。
 2. 両方のイヤホンのインジケーターが1度白色点滅したら、充電ケースから取り出します。
 - 本製品が「機器検索中」状態(ペアリングモード)に切り替わり、接続したいBluetooth機器とのペアリングを行うことができるようになります。
- 手順通りにできなかった場合は、もう一度最初から同じ操作を行ってください。

■ 本製品の動作がおかしい場合は

本製品をリセットしてください。

1. L／R(左／右)両方のイヤホンに充電ケース(電池残量がある状態)に取り付けたあとイヤホンのインジケーターが点灯後に、両方のイヤホンの操作ボタンを長押し(約10秒)します。
 2. 両方のイヤホンのインジケーターが白色点滅し始めたら、指を離してイヤホンに充電ケースから取り出します。
 - リセットが完了します。
 3. Bluetooth機器側から本製品の登録を削除し、再度ペアリングを行います。
- 手順通りにできなかった場合は、もう一度最初から同じ操作を行ってください。

■ 防水／防じん性能について

- 本製品の防水仕様は、運動時の汗や簡単な水洗いによる内部への液体の侵入を防止する目的で設計されています(IPX5相当)。JIS 保護等級IPX5とは、噴流に対して保護されていることを意味します。お風呂などの高温多湿の場所では使用できません。
- 完全防水ではありません。故意に水中に沈めたり、水中で使用しないでください。また汗や水以外の液体(石けん水など)にさらさないでください。
- 本製品の防じん仕様は、埃やちりの内部への侵入を防止する目的で設計されています(IP5X 相当)。JIS 保護等級IP5Xとは、動作を阻害する粉じんの侵入に対して保護されていることを意味します。

- 本製品の防水／防じん性能はイヤホン本体のみの仕様です。充電ケースは防水／防じん仕様ではありません。
- イヤホン本体はIP55相当の防水／防じん処理を行っていますが、音が出る部分は防水／防じん仕様ではありません。
- イヤホンが濡れている場合は、十分な性能が発揮されない恐れがあります。イヤホンに乾いた布を当てて、複数回振って水分を取り除いたあと、十分に乾かしてからご使用ください。

■ 充電用USBケーブルについて

付属の充電用USBケーブルには過熱防止機能が搭載されています。充電ケースのバッテリージャックや、充電用USBケーブルに水分や異物がついた状態で充電することが原因で起こる異常な発熱を検知すると、充電が停止します。発熱・発煙・発火などによる故障や感電を防ぐために、本製品を充電する際は、必ず付属の充電用USBケーブルを使用してください。

■ 適合機種について

Bluetooth対応携帯電話の適合リストについては、当社ホームページまたはお客様相談窓口でご案内しています。

<https://www.audio-technica-mimio.com/>

- 右の二次元バーコードからアクセスできます。

本製品は、日本国内でのみ使用できます。



■ Bluetooth®製品について

この機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、この機器から別の移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに本製品の電源をお切りください。そのうえで、当社お客様相談窓口にご連絡頂き、混信回避のための処置についてお問い合わせください。
3. その他、この機器から第二世代小電力データ通信システム、移動体識別用の特定小電力無線局またはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合やご不明な点がございましたら当社お客様相談窓口までお問い合わせください。

2.4FH1	この無線機器は2.4GHz帯を使用します。 変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は10mです。
--------	--

本製品は日本の電波法の技術基準に適合しています。本製品を総務省の許可なしに改造して使用することはできません。これに違反すると法律により罰せられます。

ほかの機器との同時使用

Bluetooth搭載機器・無線LANを使用する機器・電子レンジなど、本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器の影響によって音声が入り切れるなど電波干渉による障害が発生することがあります。同様に、本製品の電波がこれらの機器に影響を与える可能性もあるため、次の点に注意してください。

- 本製品と同一周波数帯(2.4GHz)の電波を使用する機器を離して設置する。
- 病院内では使用しない。

使用上の注意

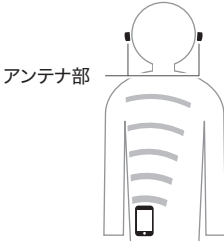
本製品と接続する機器は、Bluetooth SIGの定めるBluetooth標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。
Bluetooth標準規格に適合していても、特性や仕様によっては、本製品と接続できない場合や、操作方法や動作が異なる場合があります。

通信距離について

障害物や他の電子機器との電波干渉の影響を受け、通信距離内でも音切れが発生する場合があります。そのような場合は、本製品をBluetooth搭載機器の近くで使用してください。

Bluetooth通信をより快適にお楽しみいただくために

本製品の有効な通信範囲は障害物や電波状態によって変動します。本製品を快適にお楽しみいただくために、本製品とBluetooth機器をなるべく近づけてご使用ください。本製品のアンテナ部とBluetooth機器の間に人体やそのほか障害物がないことで、ノイズや音の途切れを最小限に抑えることができます。



ATMM-SHD1-L	ATMM-SHD1-R
001-A22059	001-A22058

Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc.が所有権を有します。株式会社オーディオテクニカは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

アフターサービスについて

本製品をご家庭用として、取扱説明や接続・注意書きに従ったご使用において故障した場合、保証書記載の期間・規定により無料修理をさせていただきます。修理ができない製品の場合は、交換させていただきます。お買い上げの際の領収書またはレシートなどは、保証開始日の確認のために保証書と共に大切に保管し、修理などの際は提示をお願いします。

株式会社オーディオテクニカ

〒194-8666 東京都町田市西成瀬2-46-1

www.audio-technica.co.jp
©2025 Audio-Technica Corporation

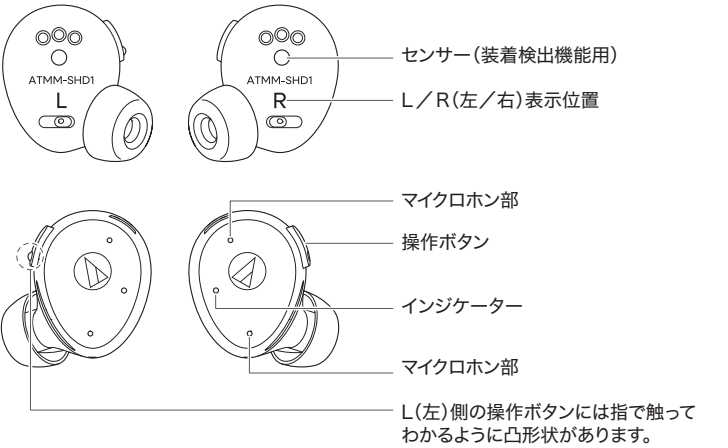
ATMM-SHD1
132902160-01-03
ver.1 2025.05.01
ver.3 2025.08.01

操作ガイド編

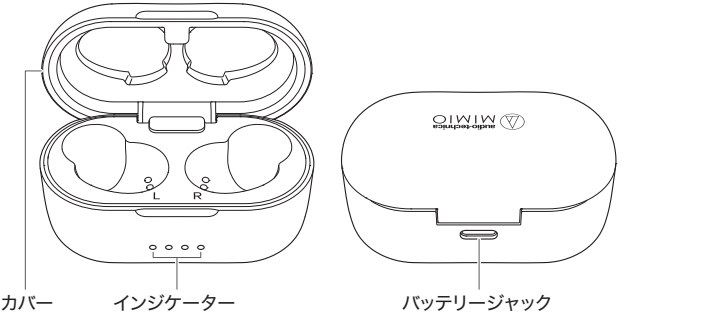
充電のしかた、ペアリングのしかた、アプリのインストール方法など、初期設定については別紙の「かんたん設定ガイド」をご確認ください。「操作ガイド編」ではアプリやイヤホンを使った基本操作について説明します。詳しい使いかたは「オンラインマニュアル(詳細版取扱説明書)」で説明しています。

■各部の名称

イヤホン



充電ケース

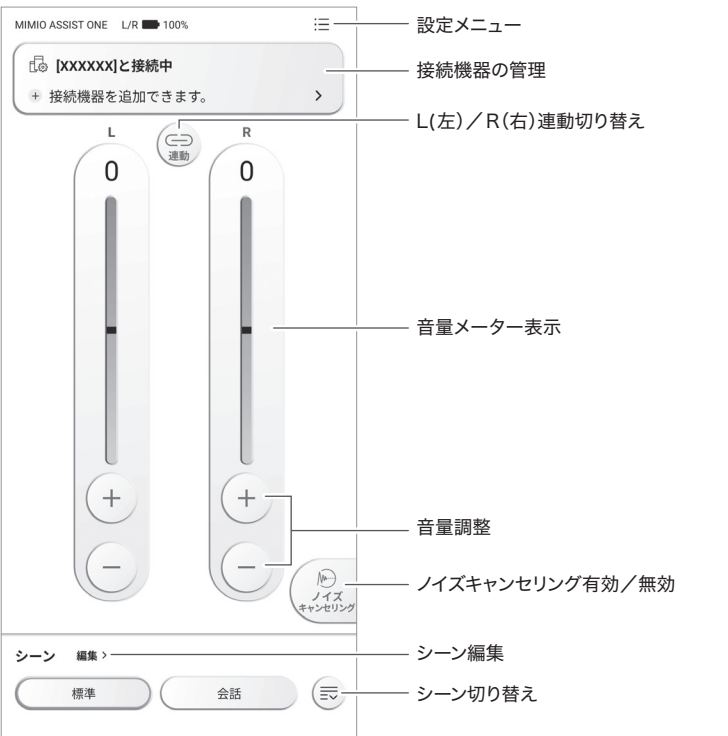


■アプリの使いかた

本製品はアプリでさまざまな設定を行い、使うことができます。イヤホンとスマホの接続方法、アプリのインストールや初期設定方法は別紙の「かんたん設定ガイド」をご確認ください。

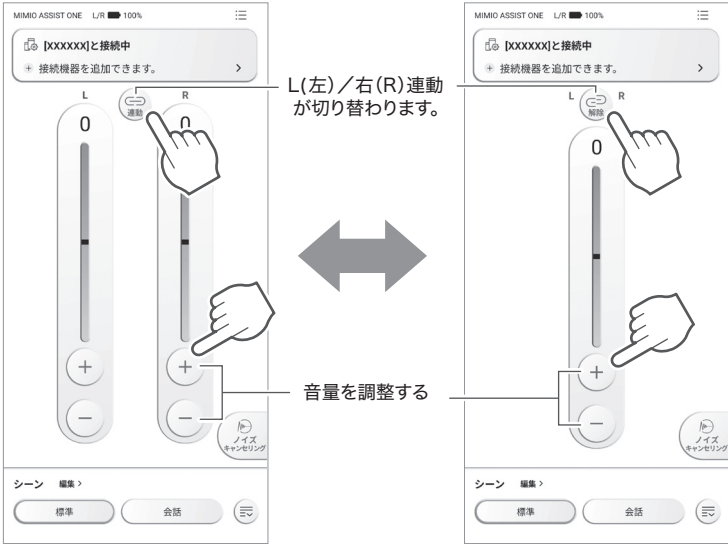
アプリで聴力レベルの測定・調整を行ってから使用してください。測定・調整を行わないと、自分に合った設定でイヤホンを使うことができません。測定・調整方法は別紙の「かんたん設定ガイド」をご確認ください。

アプリ画面の見かた



音量を調整する

外部音の取り込み量を、L(左)／R(右)側のイヤホンそれぞれの聴こえ具合に合わせて調整できます。画面の「＋／－」をタッチして、好みの音量に調整してください。L(左)／R(右)の調整を連動させたいときは、「連動」／「解除」をタッチして、画面を切り替えることができます。



ノイズキャンセリング機能を使用する

ノイズキャンセリング機能とは、本製品に内蔵されたマイクロホンが周囲の騒音を検知し、キャンセリング信号を出して騒音を効果的に低減する機能です。例えば周囲の音を気にせず作業に集中したいときなどにお勧めです。本機能を有効にすると、外部音は取り込まなくなります。

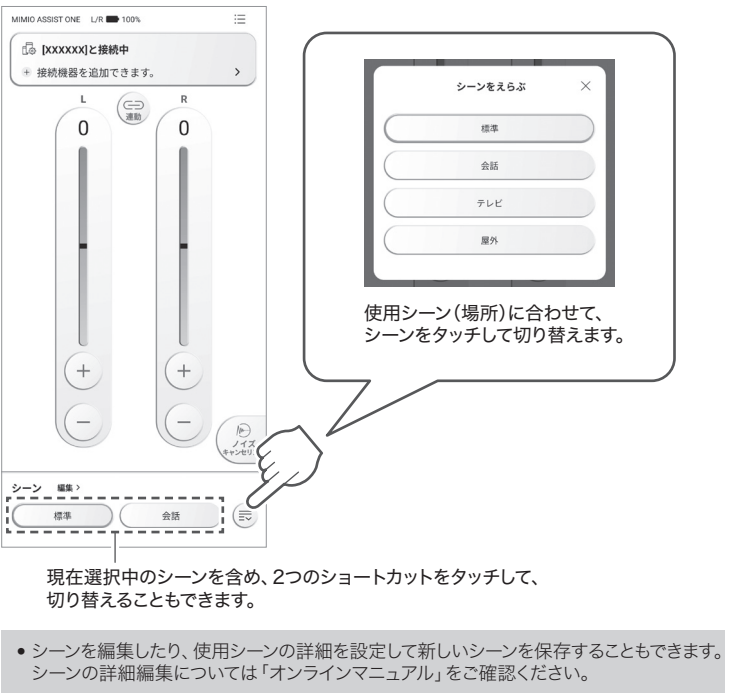


●ノイズキャンセリング機能が有効のときは、外部音の取り込み量調整やシーンの切り替えはできません。

シーンを切り替える

使用シーン(場所)に合わせて外部音の取り込みモードを切り替えることができます。お買い上げ時には次のプリセット(初期設定)が選択できます。使用場所や用途に合わせて選んでください。

標準	使用シーンを選ばない標準的な設定です。お買い上げ時に設定されています。
会話	対面での会話にお勧めの設定です。
テレビ	テレビを視聴するときにお勧めの設定です。
屋外	屋外で環境音がある中での会話にお勧めの設定です。



接続端末を管理・追加する

ほかの端末を新たに接続したり、これまでに接続したことがある端末の一覧から、接続したい端末を選択して、接続を切り替えることができます。複数台の端末で本製品を使用するときに、切り替えを簡単に行うことができます。



メニュー一覧

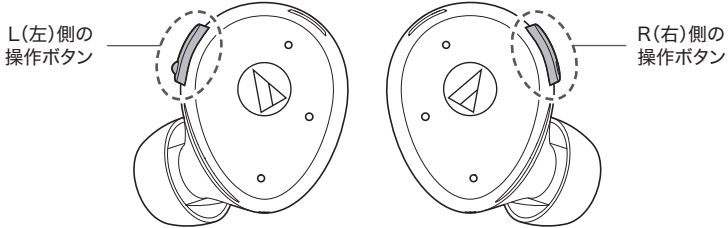
さまざまな設定ができます。詳しい設定については「オンラインマニュアル」をご確認ください。



聴力フィッティング	聴力レベルを測定します。別紙の「かんたん設定ガイド」をご確認ください。
ヘルプ	オンラインマニュアルなどが確認できます。
キーアサイン	イヤホンの操作ボタンに割り当てる機能を設定できます。
接続機器の管理	ほかの端末を新たに接続したり、これまでに接続したことがある端末の一覧から、接続したい端末を選択して、接続を切り替えることができます。
製品情報	イヤホンの詳細情報が確認できます。また、イヤホンのリセットも行うことができます。
アプリケーション情報	「Connect」アプリのバージョンが表示されています。
イヤホンのカスタマイズ画面に切り替え	イヤホンの詳細設定をこちらから行います。

■イヤホンを使う

イヤホンのボタン操作で次のことができます。



電源が入っているとき

L(左)側のボタン操作	
1回押す	音量が1段階大きくなります。
2回連続で素早く押す	音量が1段階小さくなります。
3回連続で素早く押す	1番目に設定しているシーンに切り替わります。
長押しする(約2秒)／長押しし続ける	シーンが順に切り替わります。長押しし続けると、連続でシーンが順に切り替わります。

R(右)側のボタン操作	
長押しする(約2秒)	ノイズキャンセリング機能の有効／無効が切り替わります。

通話をするとき

L(左)側のボタン操作	
1回押す	着信時：電話を受けます。 通話時：通話音量が1段階大きくなります。
2回連続で素早く押す	通話時：通話音量が1段階小さくなります。
長押しする(約2秒)	着信時：着信を拒否します。 発信時：発信を中止します。 通話時：通話を終了します。

R(右)側のボタン操作	
1回押す	着信時：電話を受けます。 通話時：通話の音声すべて(相手の音声・自分の音声)をミュートにして、外部音を取り込みます。もう一度押すとミュート解除します。
2回連続で素早く押す	通話時：マイクロホンをミュート／ミュート解除します。
長押しする(約2秒)	着信時：着信を拒否します。 発信時：発信を中止します。 通話時：通話を終了します。

■困ったときは

オンラインマニュアルを確認する

本製品の詳しい使いかたの確認、接続できない、充電できないなど困ったときの解決方法については、当社ホームページ掲載のオンラインマニュアルをご確認ください。右の二次元バーコードから確認できます。



サポートを利用する

お問い合わせ先(電話受付/平日9:00～17:30)
製品の仕様・使いかたや修理・部品のご相談は、お買い上げのお店または当社窓口およびホームページのサポートまでお願いします。
●お客様相談窓口(製品の仕様・使いかた) ☎ 0120-773-417
(携帯電話などのご利用は ☎ 03-6746-0211)
FAX: 042-739-9120
Eメール: support@audio-technica.co.jp
●サービスセンター(修理・部品) ☎ 0120-887-416
(携帯電話などのご利用は ☎ 03-6746-0212)
FAX: 042-739-9120
Eメール: servicecenter@audio-technica.co.jp
●ホームページ(サポート)
https://www.audio-technica-mimio.com/